

**（件名）蘇州市の旅行博覧会に北海道関連企業のみなさんと「北海道ブース」を出展！**

蘇州市で開催された旅行をテーマとした博覧会に、北海道観光ブースを出展しました。  
昨年に続く2回目の出展で、今回は北海道内で観光施設を運営する企業や、中国国内で道産食品の販売を手がける企業と一緒に、チーム北海道としてPRを行いました。

**<第5回大運河文化旅行博覧会>**

- ・会期：2023年9月22日～24日（3日間）
- ・会場：蘇州国際博覧中心
- ・主催：江蘇省政府、蘇州市政府 他
- ・来場者数：約12万人

**1. 博覧会概要**

博覧会会場は、中国大運河の始点・浙江省杭州市から終点・北京市までの広大な地域を中心とした中国各都市が出展する「①国内都市エリア」、運河とシルクロードの邂逅をテーマに各国政府観光局などが出展する「②国際エリア」に加えて、人工知能やバーチャルリアリティなどの新技術を集めた「③デジタル体験エリア」が大きな注目を集めていました。

当事務所は、北海道日中友好協会と連携して、国際エリアに北海道ブースを出展しました。



AIを使った人形や恐竜のパフォーマンスが人気

**2. 北海道ブースでのPR**

北海道ブースでは、当事務所のほか、旅行会社や北海道のホテル、中国国内で道産品の販売を手がける企業と一緒に、「チーム北海道」として、北海道の観光・グルメ情報の発信を行いました。

わざわざ北海道ブースを目指してお越しいただく来場者も複数おり、用意していたパンフレットが全てなくなるなど、来場者の強い関心を感じることができました。



北海道ブースにもたくさんの人

**3. 展望等**

長く続いたコロナ対策が終わり、今年の夏前からは日本を含め、海外旅行に出かける方が増えています。今年8月のALPS処理水の放出により、日本政府への批判や日本製品の安全性を疑問視する声が強く聞かれたのは事実ですが、私の印象では、中国外の情報にも触れて冷静な行動を取る人も多く、またそういった人の発信する情報を目にする機会も増えてきています。

3日間のイベント中に、ALPS処理水に関するネガティブな発言を受けることは一度もなく、北海道観光に関する具体的な質問や自身の北海道旅行の思い出を話してくれるなど、中国人の北海道旅行熱の高さを改めて感じました。

当事務所として、安心安全な食べ物を含めた北海道の魅力を引き続き、中国のみなさんに直接お伝えする場を大切にしていきたいと、改めて感じる機会になりました。



道産食品にも高い関心

**蘇州市について**

蘇州市（江蘇省）は、上海市の西に位置し、春秋戦国時代に「呉」の都が築かれるなど多彩な歴史を誇り、中国大運河や蘇州古典園林（9つの庭園の総称）など数多くの世界遺産を持ち、東洋のベニスとも称される観光都市です。

一方、常住人口は約1,275万人、中国都市別GDPランキング（2022年）で第6位に位置しており、経済都市としても注目を浴びています。